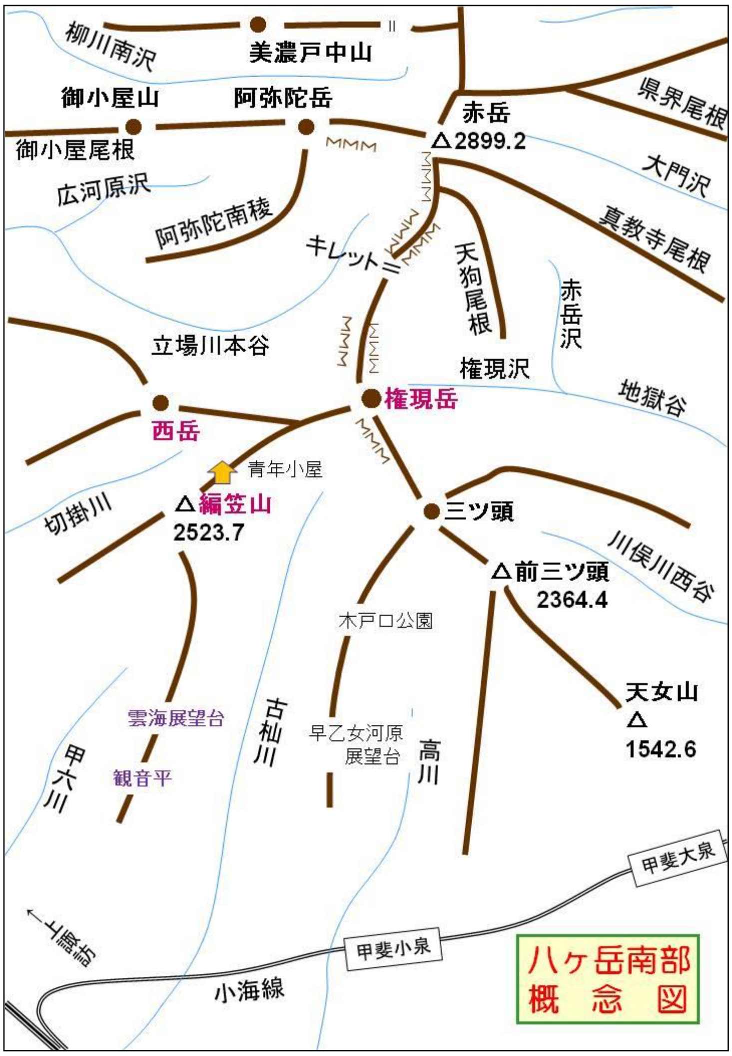
踏　み　跡　＜My　Mountains＞

八ケ岳	観音平から編笠山･西岳･権現岳	No.213



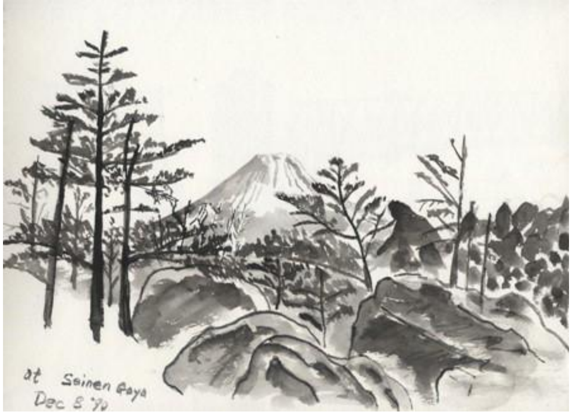
八ケ岳の主要な峰のうち西岳だけが歩き残ってしまった。もっとも、八ケ岳を歩いたという人の中でもこの山を登ったことがない人はかなりいるだろうと思う。
西岳だけを登るという訳にはいかない位置にある山なのでそれなりの時間が必要なことと、長い裾野歩きが伴うので暑い夏を選ぶのは得策ではないと思い色々策を巡らし、機会をうかがううちに平成になってしまった。結論として、車を使って観音平まで入って編笠・西岳を往復するプランに落ち着いた。

平成２年１２月７日
6 時 38 分に自宅を出発。毎度おなじみ藤崎のコンビニでおにぎり・ミカンほか食糧を購入して京葉道路へ。快晴で絶好のドライブ日和。
小渕沢から長い裾野を上って延命水で２ℓのポリタンに水をつめて観音平に 9 時 50 分に到着。ここは海抜 1550m ぐらいだろうか、帰る頃に車が冷え切らないように、日当たりのよさそうな場所を選んで駐車。
身支度を整えている所へ林の中から一匹の鹿が顔を出したが、視線が合ったらすぐに逃げてしまった。昼食をとり 11 時 25 分に出発。新雪が輝く北岳とどっしりとした甲斐駒、南アルプスを背にひたすら登り続ける。
押手川（海抜 2200m）13 時 04 分。さらに登ったところで仙丈・甲斐駒・北岳の眺めの良さにたまらず中休止。甲府盆地から釜無川に沿って薄らと霞がかかったようになっていて、その上に南アルプスの山並みがまるで浮き上がっているかのように見える。
エンジン切れの前の燃料補給として眺めをおかずにブドウパン。
長い裾をひく尾根をひたすら登り続けて編笠山（2523.7m）に 14 時 35 分到着。ここまで南アルプスだけを楽しんできたが、ここで初めて北アルプスと雪を付けた赤岳・横岳と迫力ある岩稜の権現・阿弥陀が視界に入ってきた。南アルプス・中央アルプス・北アルプスがひとつながりの大パノラマになって見えるのは最高の贅沢だ。雪は僅かに残るのみだが西風が強い。ミカンとチョコレートを食べて青年小屋へ向かって下りに入る。
青年小屋 15 時 20 分、温度計は 0 度を示している。避難小屋に荷物を置いて、15 時 30 分空身で西岳へ。
水の豊富な乙女清水で喉を潤してノロシ場の南西面を巻くように進み、40 分足らずで西岳に着いた。
海抜 2398m、平坦で見晴らしが良い山頂は西に北アルプス、南に南アルプスがひとつひとつの頂を鮮やかに見せてくれている。阿弥陀と赤岳の間にチョコンと顔を出した中岳、目の前にそびえる権現の岩山、編笠山の右にもう一つ並ぶ三角錐は富士。八ケ岳の色々なところから今までに見た眺めとは少々異なる眺めで、見ているだけで楽しくなってくる。西岳はやはり八ケ岳の主峰・名峰のひとつに入れるべき山だ。
青年小屋に戻ると 17 時。避難小屋に入り管理人室のスペースにツエルトを張り、今宵の宿にする。
乗鞍方面の空がオレンジ色に染まって、切り絵を見るような日没。
夕食は、餅入りの中華風雑炊にキュウリ。デザートにミカンとリッツクラッカーに紅茶。
食後のひと休みの後 19 時に外へ出てみたら、星が天空いっぱいに広がり、どれが何かもわからないほど。
温度計は－3 度を示していた。

踏　み　跡　＜My　Mountains＞

平成２年１２月８日

3 時 40 分、寒くて目が覚めた。紅茶を沸かして飲んで温まり、またひと眠り。6 時 10 分起床、日の出の富士は赤い空に浮かび上がり神々しい。今日も気持ちの良い快晴。
朝食をとり 7 時 50 分に出発。12 月ではあるが積雪は極めて少なく、凍結もなく歩きやすい。
権現岳（2718m）9 時。権現岩の左に雲上の富士。
農鳥岳を左に従えた北岳、甲斐駒と並んで存在を主張するかのような仙丈ケ岳。権現小屋の下の日だまりを見つけて富士山をスケッチ。今回は墨絵スケッチを書いてみようと思って墨と筆と水を持ってきた。書いているうちに寒くなり、仕上がり寸前に水が完全に凍結してしまい、筆もかちかちになってしまった。（上画像）
スケッチの後はおやつ（みかん・チョコレート・リッツ）。
10 時 30 分下山開始。とは言っても快晴の冬空に鉄板を張り付けたように鮮やかな富士、目を奪われて歩が進まないのは当然のこと。
青年小屋 11 時 15 分。空には何も雲がない。昼食をとり、再び富士山をスケッチ。この世のものとは思えない絶妙のアングルを見つけて、一気に描き上げた。（右画像）



たっぷりとスケッチ休憩をとり 12 時 50 分出発。
編笠山 13 時 12 分。快調に下り始めたが、雲海の下あたり（海抜 1800m ぐらいか）で暖かい日だまりを見つけて足が止まった。おやつを食べてしばらく昼寝。
観音平に 15 時 40 分帰着。見上げる高さになった富士山を撮影してフィニッシュ。
延命水で顔を洗って服を着替えて、土産に水を満タンにして持ち帰り。延命水を 16 時 15 分に出発して小渕沢の農家で林檎を買って 20 号線へ。20 号線を選んだのは日が暮れるまでしつこく南アルプスを見続けたいがため。
途中でラーメンを食べて、韮崎から中央高速に入り自宅帰着は 21 時ちょうどだった。

以上

リバーサルを入れたカメラを持っていきはしたが、墨絵のスケッチもして見た。土産になった景色は数少ないが、スケッチは凝視している時間が長いので、景色の隅々までが細かく頭に残ってくれる。しかし、12 月の寒さの中、筆や水が凍ってしまったのは愉快だった。
カメラの方も天気・空気に恵まれたしリバーサルフィルムでもあるので、素晴らしい作品を沢山残せた。